



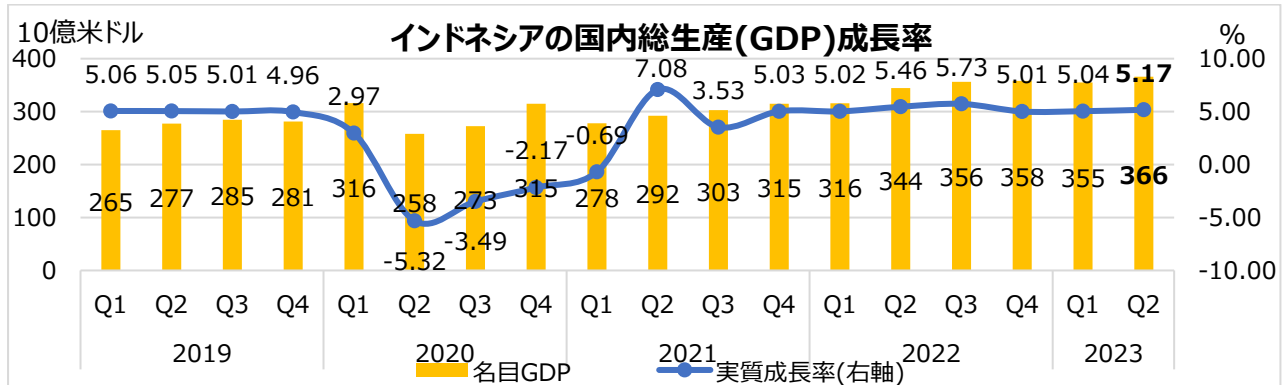
## <インドネシア・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2023年8月17日

### 強力な支出により 2023 年第 2 四半期 GDP 成長率+5.17%

2023年6月の輸出が前年同月比-21%だったにも関わらず、東南アジアで最大の経済規模を誇るインドネシアの国内総生産（GDP）は依然として高い成長率を達成した。インドネシア中央統計局(BPS)によると、第2四半期の実質成長率は前年同期比5.17%であった。第1四半期の成長率は5.03%から5.04%へと上方修正された。



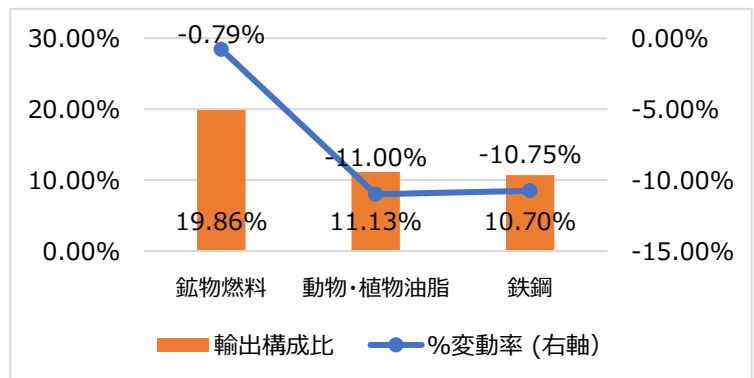
(為替レート：USD/IDR = 14,286) 出所：インドネシア中央統計局(BPS)

学生が休暇に入り、イスラム教の断食月や祭日など、大型連休が連続する中、旅行需要などの増加により、運輸・倉庫業が前年同期比 15.28%増と大幅伸長した。支出の内訳を見ると、家計最終消費支出の堅調な伸びに加え、政府最終消費支出が前年同期比 10.62%増、前四半期比では 41.3%増と最も高い伸び率であった。ジョコ・ウィドド大統領の任期満了が 2024 年に迫り、道路と灌漑システムの建設を政府が加速したことなどで総固定資本形成の伸びも高まった。



写真提供：CPVN 編集

イード・アル・フィットルはイスラム教にとって最大の祭りの一つで、ラマダン断食月の終わりを告げる



出所：インドネシア中央統計局(BPS)

2023 上半期の主な商品グループの輸出構成比と前年同期比変動率：3商品グループとも減少した

2023年上半期、世界的な景気停滞の影響により、インドネシアの輸出額は前年同期比8.9%減少した。インドネシア経済は同年下半期に減速すると予想されている。(1)世界需要の低迷により輸出は引き続き減少する可能性があること、(2)2024年2月の総選挙を前に企業が投資を遅らせる可能性が高いこと、などが理由として考えられる。

以上

#### 免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社 (CAM) が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。